

高等学校における通級による指導について

本県では、平成31年4月から伊勢まなび高等学校、令和3年度からみえ夢学園高等学校において通級による指導を行っています。

小・中学校における通級による指導を受けている児童生徒数が増加しており、高等学校においても通級による指導の継続を希望する生徒が増えると考えられることから実施校を拡大する必要があります。

【三重県 通級による指導を受けている児童生徒数の推移】 毎年5月1日現在

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
小学校	800	878	1,003	1,006	988
中学校	79	87	181	178	195
高等学校	—	13	16	26	25
計	879	978	1,200	1,210	1,208

通級による指導とは

ほとんどの授業を通常の学級で受けながら、一部、授業中や放課後の時間帯に、個々の障がいの状態に応じた特別の指導を特別な場所（通級指導教室）で受ける教育のことをいいます。

週に1時間から2時間程度、担当の教員と個別に、または小グループで行います。

生徒の学習面や生活面でのつまずきの改善や克服につなげることを指導のねらいとします。また、本人の特性に応じたきめ細かな指導・支援を行うことで、生徒の学習意欲や自己肯定感の向上につながることが期待されます。

【指導例】

【自己理解に関するもの】

- ・障がいの認識
- ・自己理解（得意なこと・苦手なこと）

【ソーシャルスキルに関するもの】

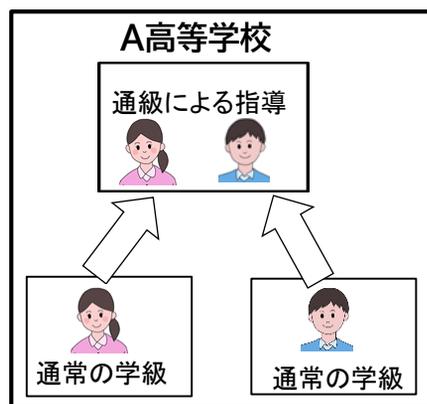
- ・コミュニケーションスキル
- ・対人関係スキル

【ライフスキルに関するもの】

- ・感情のコントロール
- ・ストレス対処スキル

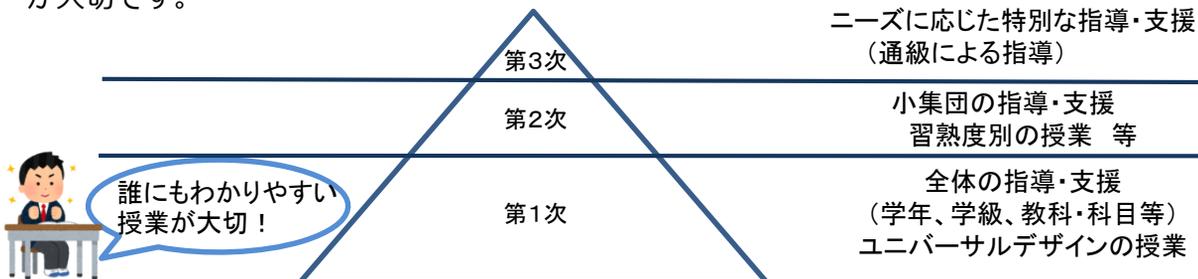
【学習スキルに関するもの】

- ・認知特性に応じた学習方法の習得



校内全体で取り組む特別支援教育

全ての生徒にとってわかりやすいユニバーサルデザインの視点の授業づくり（第1次）、小集団（習熟度別）の指導（第2次）、ニーズに応じた指導「通級による指導」（第3次）等、校内全体で特別な支援が必要な生徒に対して、実態に応じた指導・支援に取り組んでいくことが大切です。



「通級による指導」における成果

生徒および保護者との合意形成をふまえたうえで、生徒の学習上または生活上の困難をより焦点化した指導内容として、個別の指導計画にまとめます。個別の指導計画に基づき、生徒の主体的な学びを引き出して、目標達成を目指します。

【指導の例】

自分の気持ちのコントロールが難しく、大きな声をだしてしまう。

指導

自分の気持ちを変化させる原因、対応方法を知ったことで、気持ちをコントロールできるようになってきた。

話す時に自分の興味関心ばかりを話してしまう。

指導

自分と相手と順番に話す、相手が話している時は聞くなどコミュニケーションのルールを知ったことで、友だちとのトラブルが少なくなった。

受講生(22名)へのアンケート結果(令和4年10月)

①通級による指導で学んでいることは、普段の生活に役立っていますか。

役立っている 17

いない 4

未回答 1

・敬語で話せるようになった。・自分の意見が言えるようになった。

②通級による指導で学んだことは卒業後、働く、生活する時に役立つと思いますか。

はい 19

いいえ 2

未回答 1

・自分の行動を回りから評価してもらえること ・就職時の面接

「通級による指導」における目指す姿



校内で生かすことができる

学年で生かすことができる

在籍学級で生かすことができる

通級による指導での学び

地域や社会生活で生かすことができる

「通級による指導」の学びを生かして、自立や社会参加を図るために必要な能力の育成を図ります。

三重県教育委員会

連絡先 特別支援教育課 TEL 059-224-2961(指導内容等に関すること)

高校教育課 TEL 059-224-3002(教育課程等に関すること)